

様々な分野で活躍中の評論家3,000人を網羅

現代評論家人名事典

新訂第3版

日外アソシエーツ 編 A5・710頁 定価(本体16,000円+税) ISBN978-4-8169-1709-7 2002年3月刊行

詳しいプロフィールと 著作がわかる

- 1995年～2001年に、各種雑誌・新聞等のメディアで評論活動を展開してきた3,261人を収録した人名事典です。本文は分野別に構成、各人物の詳しいプロフィールと最近の著作を調べることができます。
- 「専門分野別人名目次」「人名索引(五十音順)」付き。
- 『評論家人名事典』(1990年刊)、『現代評論家人名事典』(1995年刊)の最新改訂版です。

内容見本

立花 隆 たちばな・たかし
評論家 ノンフィクション作家 ㊦ 昭和15年5月28日 ㊧ 長崎県長崎市 本名=橋 隆志 ㊨ 東京大学仏文科(昭和39年)卒、東京大学哲学科(昭和46年)中退 ㊩ 文芸春秋読者賞(第36回)(昭和49年)「特集—田中角栄研究」(共著)、新評賞(第5回)(昭和50年)「田中角栄研究—その金脈と人脈」、講談社ノンフィクション賞(第1回)(昭和54年)「日本共産党の研究」、菊池寛賞(第31回)(昭和58年)「宇宙からの帰還」、文芸春秋読者賞(第45回)(昭和58年)「田中角栄と私の9年間」、新潮学芸賞(平成3年)「精神と物質」、大川出版賞(第2回)(平成5年)「電腦進化論—ギガ・テラ・ペタ」、司馬遼太郎賞(第1回)(平成10年)、放送文化賞(第49回)(平成10年) ㊪ 文芸春秋新社に入社するが、再び大学に籍を置きながら、フリーライターに。一躍名を知られるようになったのは、昭和49年に「文芸春秋」に発表した「田中角栄研究」で、膨大な資料を駆使して田中金権政治の実態を暴き、同年11月の首相退陣への引き金となった。ロッキード事件の田中公判は一度も欠かさず傍聴し続けた。また、脳死、インターネット、エコロジー、進化学など別の分野へのアプローチも試み、着眼のよさと実証の確かさ、平易で力強い文章により数々のルポをものし、ニュージャーナリズムの旗手となる。代表作に、日本の政治土壌の謎に迫った「日本共産党の研究」「農協巨大な挑戦」「中核VS 革マル」、現代文明の本質を問うた「文明の逆説」「宇宙からの帰還」「サル学の現在」、「脳を究める」「インターネット探検」「立花隆の同時代ノート」「環境ホルモン入門」「二十歳(はたち)のころ」など。平成7～10年東京大学先端科学技術研究センター客員教授。
【著書】二十歳(はたち)のころ(1)1937-1958—立花ゼミ『調べて書く』共同製作 新潮社 '02.1/東大生はバカになったか—知的亡国論+現代教養論 文芸春秋 '01.10/ランダムな

2019.1

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局**

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	現代評論家人名事典 新訂第3版	冊
		定価(本体16,000円+税) ISBN978-4-8169-1709-7	
■お名前			